

南窓美術企画展

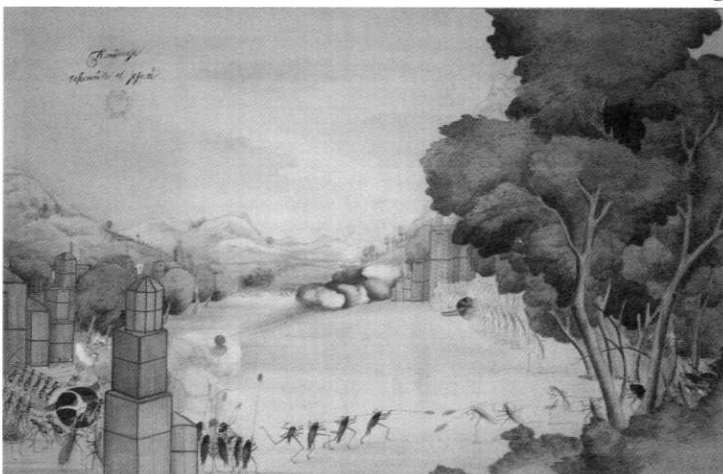
# 美術セレクション animal編

— 聖フランシスコ・ザヴィエル像公開とともに —

2015年7月18日(土)～8月30日(日)

神戸市立博物館  
Kobe City Museum

会場：2階特別展示室2



## I 獅子のバリエーション

ライオンに由来する獅子の図像は、西方から中国を経て、“唐獅子”<sup>からじし</sup>という半ば空想上の動物として日本に伝わりました。仏教の教えを守る動物として、文殊菩薩<sup>もんじゅぼさつ</sup>(No.5・6)や黄檗<sup>おうぼく</sup>の高僧が騎乗する図様<sup>おうぼく</sup>(No.7)が描かれる一方、ヨンストン『動物図譜』(No.1)などを典拠として“ライオン”を写実的に描いた水指<sup>みずさし</sup>(No.3)や銅版作品<sup>どうばん</sup>(No.2)もあります。

1. ヨンストン『動物図譜』蘭訳版	J. ヨンストン(1603~75)著	1660年	アムステルダム刊		1冊
2. 獅子のいる異国風景図(無題)	司馬江漢(1747~1818)筆	江戸時代	1780年代	紙本銅版筆彩	1面
3. 染付洋文字に獅子図水指	ばんこ 万古焼	江戸時代後期	18世紀末		1合
4. 獅子図	たいろう 石川大浪(1762~1817)筆	文化2(1805)年		絹本淡彩	1面
5. 文殊菩薩	まき 山下摩起(1890~1961)	制作年不詳		紙本著色	1面
6. 文殊菩薩像(釈迦三尊像粉本のうち)	上杉九郎次(?~1724)筆	江戸時代	18世紀前期	紙本淡彩	1幅
7. 悦峯道章像	えっぼう 小原慶山(?~1733)筆 悦峯賛	江戸時代	18世紀前期	紙本著色	1幅
8. 紅毛ポンポコポン(覗きからくり図)	にしくらく 西苦楽(生没年不詳)筆	江戸時代後期	19世紀か	紙本著色	1幅
9. ライオンマップ	P. カエリウス(1571~1646?)	1617年		銅版手彩色	1枚

## II 長崎派の動物表現

黄檗宗の中国僧・隠元隆琦<sup>いんげんりゅうき</sup>(1592~1673)と清人画家・沈南蘋<sup>しんなんびん</sup>(1682~?)の来日は、当時の日本文化に新風を吹き込みました。特に享保16年(1731)に来航した南蘋の精緻で写実的な画風は、長崎から江戸、地方へとひろがり大流行します。ここでは、黄檗文化や南蘋流の画風を示すいわゆる長崎派の画家による動物表現をみていきます。

### 長崎派の虎

10. 豊千騎虎図	ふかん 河村若芝(1638~1707)筆	もくあんしょうとう 木庵性瑠賛	延宝5(1677)年	絹本著色	1幅
11. 虎図	げんこう 元香(生没年不詳)筆	江戸時代	元禄年間(1688~1703)	絹本著色	1幅
12. 虎図	じゃくりん 山本若麟(1721~1801)筆		宝暦2(1752)年	絹本著色	1幅
13. 松虎図	じゃくゆう 牛島若融(1754~1817)筆	江戸時代	18世紀後期~19世紀初期	絹本著色	1幅
14. 虎図	しゅうせん 渡辺秀詮(1736~1824)筆	江戸時代	18世紀後期~19世紀初期	紙本著色	1幅
15. 虎図	とうようこく 洞楊谷(1760~1801)筆	江戸時代	18世紀後期	紙本墨画	1幅

### 南蘋流写生画のひろがり

16. 菊に猫図	まむらろこう 真村蘆江(1755~95)筆	江戸時代	18世紀後半	絹本著色	1幅
17. 柳蔭野馬図	きぎょく 黒川亀玉(1732~56)筆	江戸時代	18世紀中期	絹本著色	1幅
18. 聯珠争光図	れんじゅ そうしせき 宋紫石(1715~86)筆	明和2(1765)年		絹本著色	1幅
19. 『宋紫石画譜』	ふくもうぎ 副孟義編	明和2(1765)年刊		木版墨摺一部色摺	3冊
20. 猫に牡丹図	りゅうぼく 千葉龍卜(?~1808)筆	江戸時代	宝暦(1760~80)頃	絹本著色	3幅対
21. 『源氏活花記』	げんじいけはな 千葉龍卜(?~1808)編	明和2年(1765)刊		木版墨摺	3冊
22. 『源氏活花記後編 百瓶図』	ひやくへい 千葉龍卜(?~1808)編	明和4年(1767)刊		木版墨摺	2冊
23. 紫陽花と猫図	あじさい 洞楊谷(1760~1801)筆	江戸時代	18世紀後半	絹本著色	1幅
24. 桃に鹿図・巖浪双鶴図	ひろわたりこしゅう 広渡湖秀(1766~1820)筆	江戸時代	19世紀初期	紙本著色	双幅

## 殿様の南蘋流

25. 海棠芥子綬帯鳥図 <small>かいどうけし</small>	柳沢伊信(1724~92)筆 <small>これのぶ</small>	明和2(1765)年	絹本著色	1幅
26. 白鷺追兎図 <small>ただなか</small>	戸田忠翰(1761~1823)筆	天明5(1785)年	絹本著色	1幅
27. 立葵に鶏白頭翁図 <small>あおい</small>	戸田忠翰(1761~1823)筆	江戸時代 18世紀後期~19世紀初期	絹本著色	1幅

## Ⅲ 洋風画に描かれた動物 — 洋風表現への挑戦

西洋製の銅版画(No.31)を典拠する銅版作品(No.30)、舶載蘭書(No.36・38)の挿図をもとに国芳の自由な発想が生みだした洋風版画(No.35・37)、伝統的な画題を油彩という新しい表現で描く島田元旦(No.33)など、さまざまなかたちで洋風表現に挑戦した作品を紹介します。

28. 洋人曳馬と地球儀図・コロンブス謁見図 <small>えっけん</small>	亜欧堂田善(1748~1822) <small>あおうどうでんぜん</small>	江戸時代 19世紀初期	銅版墨摺	1幅
29. 『トルコの馬飾・馬の諸種』 <small>ひんかい</small>	リーディングー(1698~1767) 編	1752年 アウクスブルク刊		1冊
30. 瀬海都城図 <small>じょげん</small>	荒木如元(1765~1824)筆	江戸時代 19世紀前期	布地油彩	1面
31. 黄初平図 <small>げんたん</small>	島田元旦(1778~1840)筆	江戸時代 18世紀末~19世紀初期	絹本油彩	1幅
32. 虫合戦 <small>なんめい</small>	春木南溟(1795~1878)筆	嘉永4年(1851)か	絹本著色	1幅
33. 近江の国の勇婦於兼 <small>ゆうふおかね</small>	歌川国芳(1797~1861)画 <small>くによし</small>	江戸時代 天保初期	木版色摺	1枚
34. 『イソップ物語』伝語版	フランス・バルロー(1626?~1704)画	1810年頃 パリ刊		1冊
35. 二十四孝童子鑑 大舜 <small>にじゅうしこうどうじかがみ たいしゆん</small>	歌川国芳(1797~1861)画	江戸時代 天保末~弘化初期	木版色摺	1枚
36. 『東西海陸紀行』蘭語版	ニューホフ(1618~72)著	1682年 アムステルダム刊		1冊

## Ⅳ 江戸時代の舶載動物 — 記録から流行へ

文政4年(1821)にオランダ船が舶載した2頭の駱駝は、見世物として日本各地を巡業し、一大ブームを引き起こします。記録画のように見える窪田雪鷹の「駱駝図」も同じ図がいくつか知られています。長崎の画家・渡辺鶴洲は、文化10年(1813)にオランダ船(実はイギリス船)が運んできた象をスケッチして、作品(No.42)を描いています。舶載された珍獣や美しい鳥類は、写生や記録を目的にスケッチされるだけでなく、鑑賞作品や版画・工芸品など様々に展開していきます。

### 駱駝

37. 駱駝図	窪田雪鷹(生没年不詳)筆	文政6年(1823)	紙本淡彩	1幅
38. 阿蘭陀人持渡駱駝 KAMEEL 蘭語カメール 文錦堂版		江戸時代後期	木版に合羽摺	1枚
39. 『絵本駱駝具誌』 <small>えんこうあん</small>	高力猿猴庵(1756~1831)著	文政10年(1827)頃	手書手彩	1冊

### 象

40. 象図	渡辺鶴洲(1778~1830)筆	文化10(1813)年頃	絹本著色	1幅
41. 『全象活眼』 <small>ぜんぞうかつがん</small>	石崎融思(1768~1846)編 <small>ゆうし</small>	文化10年(1813)	木版拓摺・色摺	1帖
42. 阿蘭陀船持渡牝象	版元無記	文化10(1813)年以降	木版に合羽摺	1枚

### 鳥類

43. 来禽図巻 <small>かいはくらいきん ずい</small>	小原慶山(?~1733)筆	江戸時代 18世紀初期	絹本著色	1巻
44. 『海舶来禽図彙』 <small>まきよし</small>	北尾政美(1764~1824)画	渡辺秀詮原図 寛政2(1790)年序	木版色摺	1帖

